

資料編

- 1 総合計画後期計画を1年前倒して見直す理由
- 2 総合計画見直しの方向性（考え方と視点・手法）
- 3 磐梯町総合計画策定の推進体制
- 4 総合計画の策定スケジュール（当初）
- 5 磐梯町総合計画の主な策定プロセス（実態）
- 6 磐梯町総合計画ワークショップレポート
- 7 磐梯町総合計画アンケートレポート

1 総合計画後期計画を1年前倒して見直す理由

前倒しをして見直す背景

二年以上にわたり続く新型コロナウイルス感染症の流行により、行政業務の推進体制は大きな変革を余儀なくされています。繰り返される感染の状況に対しアクセルとブレーキを交互に踏みながら、日々状況の変化に合わせて行政判断を柔軟に対応できる仕組みが必要になっています。また、様々な施策においてもアフターコロナを見据えた新たな枠組みの構築が重要になってきました。

そのためにもいかに早く課題を解決していくか、的確な情報収集と合わせてその手段（決断するための仕組み）もより進化させて行かねばなりません。また、長期的な目標を設定する過程においては日々変化できるような体制でなくてはなりません。

磐梯町はこのコロナ禍の中で、デジタル技術も使いながら、そして専門知識を持つ外部人材のみなさんのご協力をいただきながら推進体制を整備して参りました。

そして推進体制の整備とともに各種施策の推進に対して最も重要なことは、その施策が「住民起点」で進められているかということです。

どうしても行政だけの目線で考えていく場合、縦割りを超えられないという結果に結び付きます。

それは本来住民がどのような用事（目的）を達成するために行政を必要とするのか？という視点が抜け落ちてしまう可能性が高くなります。

サービス業であれば、お客様が何を求めているかを常に考え、そして行動することが最優先だと言われてきました。

常にお客様の立場に立った顧客起点でのサービスが生み出され、そのサービスを提供するために人が動く、そのような仕組みが本来の組織であるべきなのです。まさに行政もこのようにあるべきであり、町の最上位計画である総合計画見直しに当たっても住民参加型で進め、より町民本位の計画とするために、今回計画期間を1年間前倒して、計画の見直しを実施することにしました。

2 総合計画見直しの方向性（考え方と視点・手法）

総合計画見直しの考え方

1. 総花計画から総合戦略へ

磐梯町が目指す使命と将来像のために、形骸化する総花的内容ではなく、実質的な戦略的内容を目指します。

2. 自治体経営の抜本的転換

新しい日常を考慮し、自治体経営のあり方を抜本的に見直す内容とします。

3. 総合計画の DX

総合計画のあり方や策定過程をデジタル変革することで、声なき声や多様な住民ニーズを吸い上げ、より多くの町民が策定に関わる総合計画を目指します。

総合計画策定の視点・手法

1. 共創・協働

繋がり：可能な限り多くの町民と繋がり、共創・協働による総合計画の策定を行います。

現状把握：潜在的な町民ニーズや声なき声を可能な限り吸い上げます。

情報共有：共創・協働の前提条件となる各種情報を順次共有します。

2. デザイン

関係性のデザイン：町民参加のあり方、町民への伝え方等、町民と役場の関係性をデザインします。

まちづくりのデザイン：各地域の課題や価値を反映しつつ、全体的な視点から一体感のあ

るまちの調和をデザインします。

未来のデザイン：現在の町民だけでなく、子どもたちやまだ見ぬ将来の磐梯町を担う町民も意識した未来をデザインします。

3. シビックテック

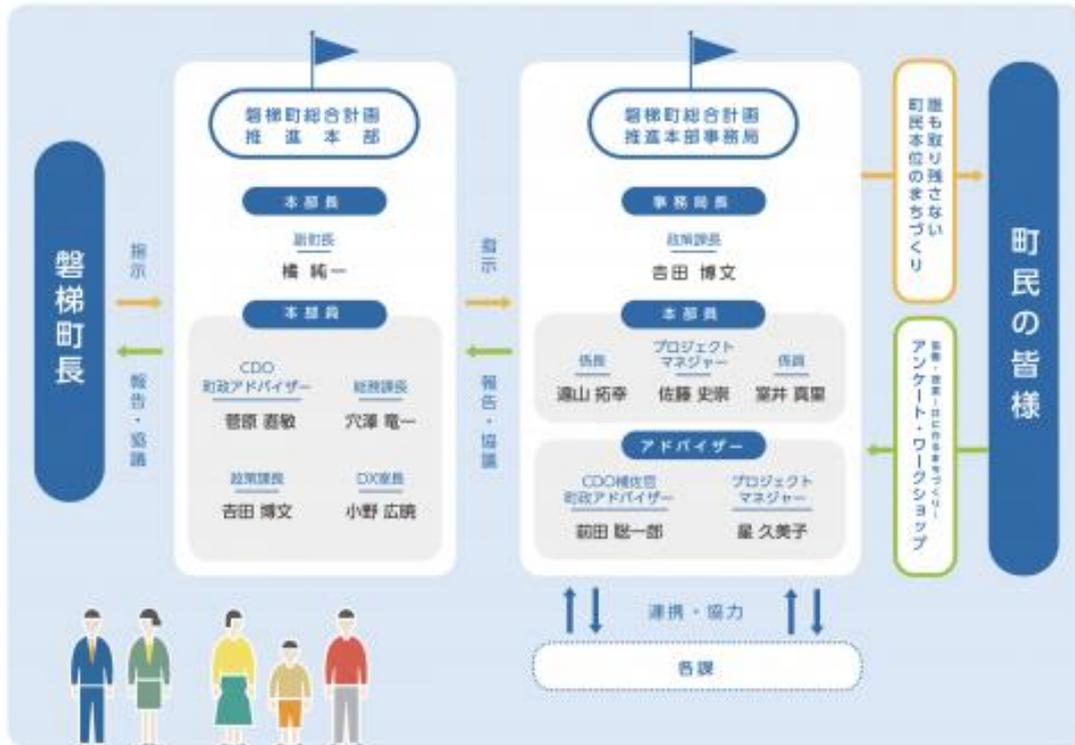
以下の3つの段階において、デジタル技術とデータの活用をベースとして取り組みます。

町民の関わり：アンケート、パブリックコメント、審議会・ワークショップ等、総合計画・策定における町民の関わり方を変革します。

情報の可視化：町にかかるあらゆる情報を可能な限り可視化・データ化し、町民にわかりやすく伝えます。また、策定過程を原則すべて公開します。

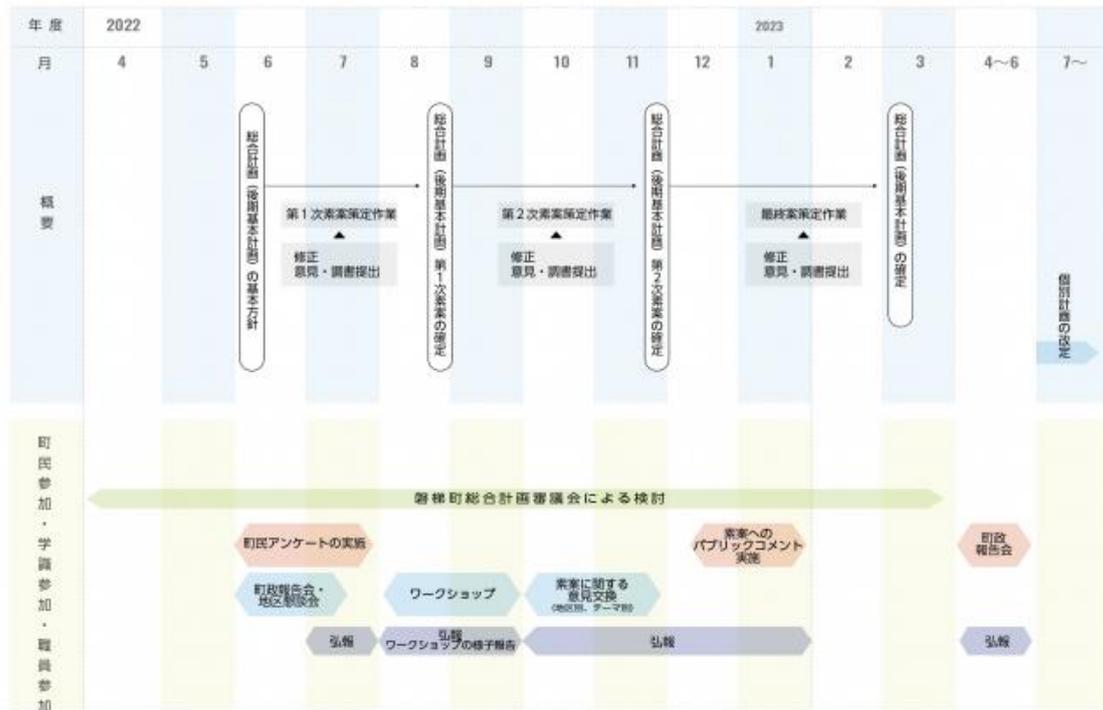
データの分析：データに基づいた分析を徹底することで、よりの確な戦略を目指します。

3 磐梯町総合計画策定の推進体制



4 総合計画の策定スケジュール（当初）

磐梯町総合計画の見直しについて



5 磐梯町総合計画の主な策定プロセス

日にち	実施内容	カテゴリ
令和3年12月20日	総合計画後期基本計画（以後、後期基本計画）の前倒しでの実施に向けた検討	運営
令和4年3月7日	町課長会議での後期基本計画策定の前倒しの実施の説明・合意	運営
令和4年3月10日	全員協議会の開催 後期基本計画策定の前倒しの実施の議会説明	運営
令和4年5月1日	後期基本計画策定本部の設置 後期基本計画策定事務局の設置	運営
令和4年5月24日	後期計画策定特設ホームページの開設 	広報
令和4年5月28日	先進地視察_事務局の西会津町視察	運営
令和5年5-7月	後期基本計画策定に向けた全住民アンケートの実施 ※対象 16歳以上 ※実施期間：6/1～7/31 ※実施方法：郵送及びインターネットによる回答	現状把握
令和5年5-7月	全住民アンケートの広報 ※磐梯弘報（広報誌）、回覧板、全戸配布、ホームページ、公式LINE、コードモン、電子回覧板	広報
令和4年6-7月	全行政区での地区懇談会の開催 	現状把握

令和4年7月8日	<p>ハイブリッド*での地区懇談会の開催 ※実施地区：七ツ森地区</p> <p>* ハイブリッド=現地&インターネットからのオンライン参加</p> 	現状把握
令和4年7月25日	若手職員及び住民によるワークショッププロジェクトのキックオフ	現状把握
令和4年8月5-12日	ワークショップファシリテーター及び事務局による各課ヒアリングの実施	現状把握
令和4年9月9日	ホームページ上での住民アンケート結果の報告	現状把握
令和4年10月14日	ホームページ上でのワークショップ参加者の募集開始	計画策定
令和4年11月7日	ワークショップに参加する若手職員向け事前研修	計画策定
令和4年11月8日	第1回「未来のばんだいについて話そう 総合計画ワークショップ」の開催	計画策定
令和4年11月10日	ホームページ上での第1回「未来のばんだいについて話そう 総合計画ワークショップ」の開催報告	広報
令和4年11月22日	第2回「未来のばんだいについて話そう 総合計画ワークショップ」の開催	計画策定
令和4年11月25日	ホームページ上での第2回「未来のばんだいについて話そう 総合計画ワークショップ」の開催報告	広報
令和4年12月20日	第3回「未来のばんだいについて話そう 総合計画ワークショップ」の開催	計画策定
令和4年12月23日	ホームページ上での第3回「未来のばんだいについて話そう 総合計画ワークショップ」の開催報告	広報
令和4年11-12月	町各課でから事業実施計画ヒアリング	計画策定
令和5年1月5日	町課長会議で総合計画（後期基本計画素案）協議	計画策定
令和5年2月22日	総合計画審議会の開催 磐梯町総合計画（後期基本計画）（事業実施計画）の審議	計画策定
令和5年2月24日	磐梯町総合計画（後期基本計画）（事業実施計画）の答申	計画策定
令和5年2月27日	議会全員協議会の開催 磐梯町総合計画（後期基本計画）の骨格説明	計画策定
令和5年3月17日	3月定例議会の開催 磐梯町総合計画（後期基本計画）の議決	計画策定
令和5年3月28日	磐梯町総合計画（後期基本計画）の一般発表	計画策定